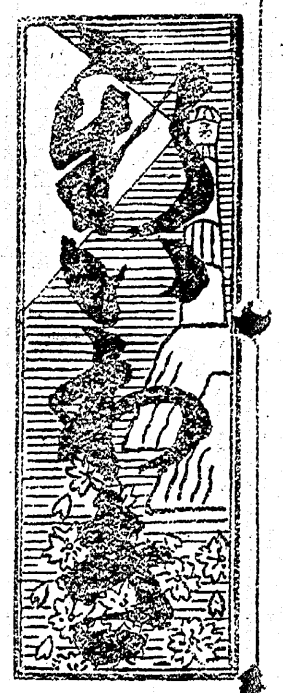
十一月二十四日夕刊



搔槌小路の燒跡に工場再建築を反對

適當な防火壁を設けぬ限り斷じて罷りならぬ

平市才槌小路に於ける製材工場から發火した去る十七日未明の火災は近頃にない大火で附近を騷かしたが同地は今回まで數回に及ぶ失火の爲め町内では何かの祟りでもあるかの如く語られて居り同所に木材工場を置くことに一層の危險を唱ひ燒跡に建つ工場の建築に對して各工場に相當の防火壁を設けざる限り中止して貰ひたいとの苦情が出で昨二十三日は附近の各戸を會して工場主に其の交渉を進むることになつた模樣であり製材所側が若しこれに應じない場合は附近民なら風下關係地の各戸を集むる大會を開いて斷じて建築を阻止せねばならぬと力んでゐるので一と悶着が起りそうである

護國の散華

石城郡關係の七勇士

◇渡邊德一〇〇兵、石城郡上小川村の高崎出身で名譽の戰死を遂げた留守宅には母ふく(七〇)さんがある、同君は三男で實兄勝雄君も應召したが疾病で歸つてゐる

◇廣瀬泰造〇〇兵、石城郡赤井村の比良出身十年以前から石川縣尾小屋鑛山に坑夫として働き鑛山の留守宅には妻いし(三三)さんとの間に七人の子供を殘して戰死

◇長瀬憲彥〇〇、石城郡植田町字本町の出身で名譽の戰死、出征前まで同町に旅館兼料理店を經營する傍ら青年學校指導員をつとめてゐた、家庭には父源吉(六〇)氏母みわ(五八)さんと妻みどり(三六)さんとの間に一人の女子がある

◇出羽公一〇〇兵、石城郡四倉町の出身で秋三郎氏の長男、兩角部隊に屬し上海戰線に活躍されてゐたが遂に戰死す同君は出征前まで警視廳巡査を奉職、東京市豐島區西巢鴨二の二四八七の留守宅には昨年秋結婚した妻ます子(二五)さんがある

◇柳内正雄〇〇兵、石城郡上小川村の上小川字空本出身、村内下小川村の上平草野鶴之助氏四男で故柳内善之助氏方へ婿養子となつたもの實家には養母みね(六九)妻すて子(三〇)さんとの間に長女いつ子(二)さんがある

◇小山今朝治〇〇兵、石城郡湯本町の太良尻出身で上海戰線に活躍されてゐたが遂に壯烈な戰死を遂げた旨昨二十三日原隊から發表、

◇佐藤松吉〇〇兵、石城郡四倉出身兩角部隊に屬し上海戰に奮鬪されてゐたが戰死、同君は出征前まで漁業に從業したゞ一人の父常松(六四)さんに孝養をつくしてゐた評判の模範青年である

白衣の凱旋 六十余名

今日平驛通過

仙台第二師團管下に於ける戰傷將兵六十餘名は今二十四日平市仲間町鈴木健一(三)君は目下横須賀海軍砲術學校に在學中であるが今次の事變で戰の庭には起たずとも猛訓練を受けつゝありて出征兵士の苦に思ひを深め勉學の中から金五圓を添えた書信を青年學校當時の教官藤田中尉に送り戰地にある勇士への慰問袋に充てゝ欲しいと左記切々の赤誠をこめてあるには藤田氏も非常な感激に打たれ昨二十三日實家に殘る健一君の父千代松(七五)翁を招き愛子の美擧を激賞ながら旨を傳へたが翁もまた奇特な人で先年滿州事變の際に家傳の漢方藥「しもやけ」の藥を藤田中尉の斡旋で陸軍恤兵部に贈つたことがあり今回の事變には勃發と同時に殺

平出身の砲術校生

皇軍慰問に金五圓

戰地の兵士を思ひ遣られる 猛訓練の中に切々の情

食を絶ち皇軍戰捷と國威宣揚愛子の武運長久を神佛に祈願し倅は青年學校に入りてから行ひが變りまるで別人の樣になつて親の許へも屢々小使を送つてゐると涙もろい老ひの身とて嬉し泣きに健一君の美擧を聽いて歸宅したと

拜啓、寒さ日に加はり海風身に泌むの候、貴家一同御健勝の段慶午ら御喜び申上ます、小生青年學校在學中は種々御世話樣に相成また親身も及ばぬ御指導を蒙り御蔭樣にて學校に無事入校致しました他事午ら御安心下さい、

戰友の諸士は今尚ほ北支に或は南支にと陸戰隊として盛んに活躍してゐる、私等も今迄は航行遮斷に或は陸兵輸送にと戰時に劣らぬ苦しみと猛訓練をして來ました(中略)寒さ日々に加はるにつけ思ひますのは戰地の兵士、自身はいま勉强中の身で戰地の兵士を慰め樣としてもなか〳〵實行出來ません、甚だ勝手な御願ですが此の次ぎ平から慰問袋でも御集めの折に僅か午ら金五圓同封いたしますから結構な品を求め第一線に立つ兵士を慰めて上げて下さい

(後略)云々

平の俵米共販値

古米十二圓卅三錢

新米は十二圓三十八錢 脅威させられる消費側

平市農業倉庫に於ける去る二十二日の俵米共同販賣は百五俵の出荷に對して米商連十數名の競爭入札あつた開札の結果は案外な高値で古米十二圓三十三錢、新米十二圓三十八錢に取引されたが米價は目下のところ下りそうもなく消費側の勝手元に脅威を與ふるばかりである

平倉庫四八俵（十二圓三十三錢）同二號二八俵（十二圓三十一錢）以上古米▲渡邊倉庫二九俵（十二圓三十八錢）以上新米

平署の狩獵出願 廿一名減

今日現在一〇四名

石城地方は狩獵盛期に這いつたが平署の同免狀下付は時局柄昨年より減少を續け今二十四日現在左記百四名で前年同日の百二十五名に比較し二十一名の減である

▲甲種三等九名　乙種一等一名　同二等二名　同三等九十三名(以上)

軍國の母を語る 講演會

磐城高女講堂で

平市國防婦人會支部、平婦人會、同女子青年團の主催する講演會は來る二十五日午後一時から磐城高女講堂に於て催されるが講師は安部季雄氏演題は「軍國の母を語る」の由

井上組頭の著 消防を語る

近く愈々出版

平市消防組頭井上茂作氏は全國的に知られる消防界の權威者であるが同市消防數十年に亘る奉職から古稀を超える當年「消防を語る」の著書を企て執筆中であるが近く愈々上梓の運である同書は四六版百五十頁に亘り馬場内相から「僅あれば憂なし」頭山滿翁から「經驗は至寶なり」の題字及び松井博士並びに緒方惟一郎氏より序文を寄せられ今から二百五十年前の幕府時代に於ける火事場取締、まゝ著者が會て京都に行かれた折に見たる往古大德寺で燃つてゐた火事團扇（火の粉の來ない爲めに）の外寫眞數葉を載せたものとなるらしく消防界の珍らしき著書として歡迎されるであらう

學生の獻金

石城郡磐崎村小學校高等科一學女組杉山たまさん外六十一名は持寄りを集めた金十圓、同校内磐崎少年赤十字團下湯長谷分團木田利茂、磯上利夫君外二十名は金二圓十錢を何れも國防費に獻金した

舉動不審の男は窃盜と前借詐欺

防空演習廿二日の最終夜 深更小名濱町の捕物

平署員が去二十二日防空演習の終夜小名濱町地内を徘徊中の男の擧動が不審なので引捕へて見ると同人は千葉縣長生郡白潟町字古所生れ島吉長男綠川米夫(四)と稱し嚴重なる取調べ中であつたが遂に包み切れず吐いた泥は左記の如くである

同人は宮城縣亘理に於て漁夫をしてゐたが去十月初め頃から小名濱町に流れ込み同港に淀泊中の清福丸に忍び機關手高岡次郎所有のシヤツ、寢卷外衣類數點を窃取し次へで同町の料理店金澤某方へ登樓して酌婦の羽織を胡麻化しそれを町内字上町料理店喜久屋方に登樓しての飲代に置いてあるもの其の他双葉郡久の濱町方面では漁夫に雇はれる約束の下に前後數回に亘る前借詐欺を働き逃走中のものであることが判つた

小學生の獻金

石城郡磐崎村小學校高等科一名の減である

今晩も明日も北西の風、晴

（時雨模樣）

（小名濱觀測所）

★戰地の便★

○○地で佳節奉祝

平市出身　馬目正

謹啓皆々樣には益々御清榮の段奉賀候、小生先般重任を拜し其の途につき候節は萬端御配慮を戴き厚く御禮申上候、御蔭樣を以て上陸以來○○地にて元氣で各品の輸送を續け奮鬪致し居り候間御安心下され度候、皆樣は每日新聞、ラヂオにて

北支も紅葉の候

平市出身　山崎信男

時下秋冷紅葉の候と相成りました、降て小生事過日渡支の際には身に餘る盛んなる歡送を受けまして誠に厚く御禮申上げます、日章旗浪打つ歡送の聲は胸にやきつき盡忠報國、威揚々一層に自重感激致しました、御蔭樣にて無事戰地に着致し軍務に精勵し國恩に報い皆々樣の御期待に添ふ覺悟でありますが只今夜中行軍などして前進し參り石家莊に入りました、支那街は今は見る影もなく哀れな街となりました、

先は御禮旁々御挨拶まで、

常識講座

かつぽれは我が國の大衆的の歌踊だが英語のカップルは一對のことで二人連れ、夫婦ものの謂だ仲のよいカップルがペーヴメントを歩くなど云ふ、かつぽ族は斷髮モダンガール

日刊紙ニシテ日曜祭日ヲ除ク日休刊一ヶ月廿五錢
郵稅十五錢一部二錢
廣告料　一行四十錢
發行所指定　二十錢拾錢
發行兼編輯印刷人　中谷政喜
發行所　福島縣平市大町二三
新いわき新聞社

養兎一年の収支決算

（下）　アンゴラ兎の飼養で五倍の儲け

兎の飼育舎及び二十頭入の飼養箱代二十圓、器具費代二圓（採毛鋏一挺及び採毛用具代）合計金五十二圓、

▲収入、採毛の賣却代金四十八圓（生後二ヶ月以上の仔兎二十頭より滿一ヶ年の採毛賣却代）種兎用仔兎分讓代二百二十五圓（牝兎十頭より繁殖したる仔兎百五十頭の分讓代）種付代金十五圓（一回五十錢、十頭の牡で三十回分の代金）肥料代十六圓（兎の糞尿堆肥約八百貫を換算）収入合計三百四圓、

▲支出、飼料費代金四十六圓六十錢（十一月から翌年四月まで半年間の自給飼料をも換算）藥代三圓（農家では自給であるが換算）管理人夫費代金五十九圓四十錢（五月から十月までの採草人夫費その他一ヶ年間の管理費）兎舍及び機具損料代四圓八十錢（一頭入飼養箱一年間二十四錢として二十箱分）藥品代二十六錢（病氣豫防費並に治療費）固定資本利子六圓六十錢（日一割に見積る）支出合計百二十圓六十錢、

以上の如き計算となりアンゴラ兎二十頭を飼養した一ヶ年の收支は前に述べた收入計算三百四圓から前記の支出百二十圓六十錢を差引き

▲純益金百八十三圓四十錢を得てゐるがアンゴラ養兎家に大きな指針である（完）

看護婦に適します
婦人看護婦
平市
電三〇

藤沼醫院
七〇五電　町屋紺市平

産科
婦人科　院長　本村寅次郎
外科　醫學博士　内本宗八
藥局　藥劑師　大岩俊雄
平市新川町九一
入院隨意
病室完備
本村病院
電話一六四番

産科、婦人科專門
根本醫院（平市南町　電話三四番）
病室増築
入院隨時
手術室完備
根本庄次郎
根本貞雄

デーリーサービス

日割	品目	定價	品目	定價
月	カツレツ	三〇	チキンライス	三五
火	ポークチャップ	三五	カツ丼 親子丼	三〇 三〇
水	エビフライ	三五	ハヤシライス	三〇
木	メンチボール	三五	オムライス	三〇
金	コロッケ 蝦フライ	三〇 三五	ハムライス	三〇
土	ビーフテキ	三五	カレーライス	三〇
日	ランチA	四〇	以上の一割引にて差上ます	
〃	〃 CB	六〇 八〇		

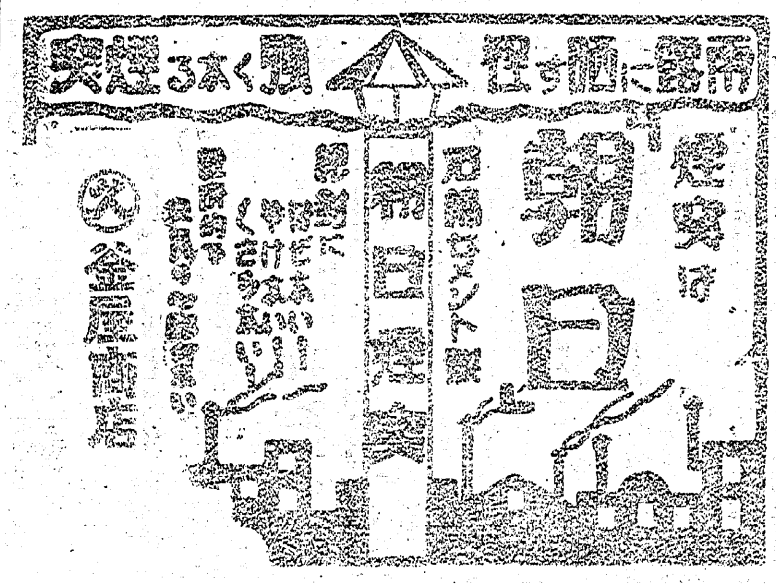
特にマルトモのランチは……
材料のおまかせを願つて居る賞め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出來ますので御華客樣からいつも御好評を戴いて居ります
御來店御召上りの時も御來客樣用仕出し等總べて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節〈〉の材料で美味快適なものを調理進上出來ますので之また非常に御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO
マルトモ食堂　平市停車場通　電話一二三

本年流行
ベルベット地
婦人シミール
三、八〇より　一三、〇〇まで
豊富陳列
ツルヤ
平四　電一四〇

貸券　公債　西替　金融
多田井貸店
平市大工町　電話五九一番

便利で經濟な
日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
平市田町十八（西村屋横町）
日下家政婦會
會長　日下すい子
電話　七二三番
會員（同志）の御加入を御誘ひ致します
派出なき閑暇に裁縫や編物を御教授致します



『看護見習募集』
明治堂眼科醫院（電話六六九）
平田町（三丁目裏川岸通）
入院隨需（自炊の便あり）

今般副院長として高橋俊幸氏を招聘し「内臓外科・一般外科・皮膚泌尿器科」の診療に從事せしむ
平病院（平市元共濟病院跡　電話六四一番）
院長　醫學博士　鈴木定藏
内科　院長　鈴木定藏
小兒科　部長　佐藤幾要司
内臓一般外科　副院長　高橋俊幸
皮膚泌尿器科
レントゲン科　部長　鈴木定藏
物理的療法科
藥劑科　部長　岡田重德
診療時間　毎日午前八時より午後九時まで　夜間診療に從事す（急患は此限にあらず）　吉本孝平

二次
横山商店
平市仲間町
振替東京〇一六〇番
電話二七一番
債券部
雜貨部

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦を特設いたし皆樣の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します、
平市南町　電三〇七
平看護婦會
會長　清野キヨ
經濟的な御便宜御用命をお願ひ致します
御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
姙婦産婦の御家庭